京都府入札監視委員会（令和８年度第３回）議事概要

<table>
<tr><td colspan="2">開催日時及び場所</td><td colspan="3">令和8年10月16日(金)
午前9時30分　～　午前11時20分
登録会館　2階 ホール1</td></tr>
<tr><td colspan="2">出席委員氏名(職業)</td><td colspan="3">委員長 平尾 嘉晃(弁護士)
委　員 宇野 伸宏(京都大学大学院工学研究科教授)
委　員 金尾 伊織(京都工芸繊維大学工芸科学部教授)
委　員 末松 千尋(京都大学名誉教授)
委　員 住田 浩史（弁護士）</td></tr>
<tr><td colspan="2">議　事　概　要</td><td colspan="3">１　開会
２　あいさつ（福原総務部副部長）
３　議事
（1）入札及び契約手続の運用状況等について
（2）抽出案件に関する入札経緯等について
（3）次回抽出委員の選出等
（4）次回開催日程の調整
４　閉会</td></tr>
<tr><td colspan="2">審議対象期間</td><td colspan="3">令和８年４月１日　～　令和８年７月31日</td></tr>
<tr><td colspan="2">審議対象件数</td><td>[工事]　280件</td><td>[物品]　75件</td><td>[ﾌﾟﾛﾎﾟｰｻﾞﾙ]　69件</td></tr>
<tr><td rowspan="3">内訳</td><td>一般競争入札</td><td>256件</td><td>67件</td><td></td></tr>
<tr><td>指名競争入札</td><td>13件</td><td>1件</td><td></td></tr>
<tr><td>随意契約</td><td>11件</td><td>7件</td><td>69件</td></tr>
<tr><td colspan="2">抽　出　案　件</td><td>４件</td><td>１件</td><td>１件</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">委員からの意見・質問
とそれに対する回答等</td><td colspan="2">意見・質問</td><td>回答等</td></tr>
<tr><td colspan="2">別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">委員会意見の内容</td><td colspan="3">○抽出案件に関する入札経緯等について
委員会において、申し述べる特段の意見等はない。
なお、各委員から出された意見・質問について、今後の入札契約執行の参考にするとともに、「公契約大綱」に基づいた取り組みを進められるよう努力願いたい。</td></tr>
</table>

別紙

3　議事

（1）入札及び契約手続の運用状況等について

意見・質問	回答等
○特に質疑無し。	

（2）抽出案件に関する入札経緯等について

①桂川右岸流域下水道洛西浄化センター建設工事（汚泥脱水機機械設備更新）　…一般競争

意見・質問	回答等
○応札可能業者はどのように選定したのか。	○資格要件は機械器具設置工事又は水道施設工事の資格が有り、格付け総合点が 1,000 点以上かつ、汚泥関係の機械設備に係る受注実績がある者としている。また、配置予定技術者についても機械設備工事の従事経験を要件とした。
○参加資格要件を満たす参加可能業者が 32 者存するにも関わらず、施工した場合のシステム弊害のリスクを恐れて参加できず、結果的に 1 者入札となっているのか。	○お見込みのとおり。しかし、技術者の不足も厳しい状況になっており、業者としては各自自治体ごとの年間の発注見通しと照らし合わせながら、まずは自社が過去に行った案件を優先して応札されている模様。今後も 1 者入札が続く状況であれば原因を究明し、参加資格要件に加味する予定である。
○施設の新設時における設計において、更新時の入札も視野に入れた汎用性の確保は考慮されないのか。	○近年議論となっているが、新設当時である約 40 年前においては議題に上がっておらず、今後の対応については国でも検討されているところである。

②亀岡総合庁舎受変電設備更新工事　…一般競争

意見・質問	回答等
○今回の対象期間における類似工事の落札率と比較すると高いが、最低制限価格等の設定は適切だったのか。	○他の公所における類似工事と同じ積算基準を用いた価格設定であり、適切と考えている。
○入札結果の“無効”の理由は何か。	○入札書と入札内訳書における積算額との不一致によるものである。
○他の案件と比べて応札額にかなりばらつきがある。	○一般的な機器を用いた工事であり、業者によって調達方法が異なることなどが考えられるのではないか。

③薪中継ポンプ場水道事業改良施設工事（薬品注入設備更新（建築））　…指名競争

別紙

意見・質問	回答等
○工事の概要について、次亜塩素酸ナトリウムの薬品注入設備を移設したとのことだが、何故か。	○従前の保存用設備の耐用年数が超過したため、本件施設内に薬品注入設備等を再整備するもの。
○１者が入札無効となった理由は何か。	○入札内訳書中の積算金額に誤りがあったため無効とした。
○指名業者 20 者のうち応札が２者だったというのは競争が適正とは言い難い。多くの業者が辞退された理由はどのように分析するか。	○民間の施設における同様工事が同時期に行われており、技術者の不足が原因と分析している。

④令和８年度海面育成施設製作工事　…随意契約

意見・質問	回答等
○昨年度の委員会でも１者入札で議論になった案件だが、今回は１者入札かつ予定価格超過による随意契約である。複数業者における参加の見込みはないのか。	○参加可能業者を確認すると 13 者存する。昨年度に１者入札となった事業のため、今年度については予算を前年度中に確保し、年度当初から発注を行ったため 13 者に近い応札を期待したが、結果的に１者入札となった。
○１者入札となった原因はどのように分析するか。	○国や他府県においても同様の工事が行われており、海面の育成施設は他にも存するということに加え、技術者不足も一因であると考える。

⑤液化炭酸ガスの購入　…一般競争

意見・質問	回答等
○随意契約業者の唯一性について、詳細をご教示願う。	○丹後・中丹地域の入札参加資格業者のうち、液化炭酸ガスの取り扱いがあると見込まれる３者にヒアリングをした結果、１者は取り扱いが無く、１者は仕様と比べ少量のボンベしか取り扱っていなかったため、府の仕様書に沿った対応ができるのは１者のみだったことが理由である。
○従前から継続する事業なのか。	○トンネルから発生するアルカリ性湧水を中和するため継続して行っている。
○いつから継続しているのか。	○平成 27 年度から実施しているが、昨年度から府に業務が移管され、昨年度も本件の契約相手方と随意契約している。

⑥令和８年度京都ジョブパーク事業 学生府内定着・UIJ ターン促進業務

別紙

…随意契約（プロポーザル）

意見・質問	回答等
○参加申請者は1者であったが、公募前に興味を持たれる業者はいたのか。また、どのような工夫をして事業者にアプローチをしたのか。	○公募段階では複数者に検討をいただいていたが、結果的に共同企業体での参加者1者であった。事業者の参加への工夫としては、公募期間をできるだけ長く設定し、業界団体へも働きかけをした。また、他府県の企業にも参加いただけるようにオンラインで説明会を開催した。
○昨年度も参加は1者だったのか。	○今回は学生等支援業務と移住人材確保支援業務を統合したものだが、昨年度の学生等支援業務の参加は2者、移住人材確保支援業務の参加は1者であった。
○京都の企業はポテンシャルが高いが、UIJターン等に係る広報活動が少ない印象があるため、今後も尽力いただきたい。	○学生にできるだけ京都ジョブパークの情報や取り組みを届けるよう今後も尽力していく。